

『時事直言』 No.1396 2020年5月15日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)



時事評論家 増田俊男

確実に became 世界恐慌

今回の「小冊子」Vol.116は「世界恐慌特集」になる。

世界大恐慌が確実に言う理由は多くあるだろう。しかし、新型コロナもそうだが、何事も「創造した者に自由裁量権」がある。新型コロナのワクチンは新型コロナを創造した者にしか作れない。

だからビル・ゲイツ氏は「ワクチンは2021年後半になる」と言えるのである。今でもワクチンは出来るが、それでは新型コロナ創造の目的が達成出来ないし、それでは「トランプ大統領も習近平主席も困る」のである。つまり「世界大恐慌」はトランプと習近平の使命にも関係している。

GDP 世界最大のアメリカも、もうじきアメリカに追いつく中国も経済構造改革が急務である。

トランプは現行勢力(軍産)に阻まれ、習近平は保守勢力(江沢民)に阻まれて出来ない。

トランプはアジアから米軍撤退を叫んでも日本、韓国など同盟国と結託している軍産は動かない。人民解放軍はアジアの米軍を排除したいが、米中戦争は出来ない。戦後のドル覇権も、トランプの使命にとって百害あって一利なし。だからトランプは基軸通貨を早く返上したいが、出来ない。

アメリカと中国が新型コロナと戦って中国は勝ったが、今現在アメリカは負けている。

人民軍はアメリカと戦わず勝ち、中国は手持ちドル資産を売ってアメリカと相刺しをしなくてもドルは衰退する。それには新型コロナが2021年も猛威を振るう必要があり、またその為アメリカが大恐慌に陥る必要がある。

全く何のことかお分かりにならないでしょうが、数日前にお話し出来た世界金融の大御所様と私の意見が全く一致したことである。

実はこれは日本人にとって由々しき問題なのである。アメリカ人は、エリート以外は文無しだからいいが、日本人は60歳以上の方々の平均預金高が3,000万円だから、世界大恐慌になるとアメリカ人と同じ文無しになりかねない。

小冊子 Vol.116の最後には大恐慌からの救済のみならず、「災い転じて福となす」で大儲けする方法まで解説している。

読まない手はないと思いますが、、

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 05月11日(月) No. 978 これで「二番底」が決まった！
- 05月07日(木) No. 977 根が深い新型コロナ暴落
- 04月28日(火) No. 976 外出禁止解除、職場復帰の株価楽観論の結果は悲観論！
- 04月24日(金) No. 975 二番底

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。